

まえがき



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の現状について公表し、県民の皆様にご理解をいただいておりますが、今回は、平成16年度上半期における財政の状況と平成15年度の決算状況について、そのあらましをご説明申し上げます。

本年度当初予算においては、実質交付税の未曾有の大幅削減という厳しい財政環境のなか、歳入・歳出全般にわたる徹底した見直しや道路事業における1.5車線の整備など地域の実状にあった効率的・効果的な社会資本整備を図るといった工夫などを行い、中小企業・雇用対策、環境施策、安全・安心の確保や少子化時代に対応した施策などに重点を置き、必要な年間予算を編成したところであります。9月補正予算は、災害復旧などの緊急を要する対策をはじめ、当初予算編成以後の事業の進捗や

情勢の変化等を踏まえ、現時点で新たな対応が必要となった施策を中心に編成しました。

平成15年度の一般会計の決算については、経費の効率的執行や節減に努めたことなどから、財政調整基金及び減債基金の取り崩しを含めた上ですが、実質収支で8億円余の黒字となったところです。しかしながら、本県の財政状況は、県税収入に微かな明るさが見られるものの、交付税収入の大幅削減や、平成4年度以降、国の経済対策に呼応し積極的な公共投資を行ってきたことにより累積した県債の償還が本格化するなど、大変厳しいものとなっております。こうした状況の中で、県政の直面する様々な政策課題に的確に対応していくため、行財政改革を更に強化するほか、時代に即応した施策の再構築を進めるなど、県勢の振興のため全力で取り組んでまいります。

本号では、本県の財政状況をよりわかりやすく、より多角的に説明するためにバランスシートとともに、どのサービスにどれだけのコストがかかっているのかをまとめた行政コスト計算書も掲載いたしております。

皆様の忌憚のないご批判と一層のご協力をお願い申し上げます。

平成16年12月1日

石川県知事 谷本正憲